



COMMUNIQUE

No.-1

第3回 ニセコHANAZONOヒルクライム

2012/7/30

北海道自転車競技連盟
理事長 小野 盛秀

札幌自転車競技連盟
理事長 勝見 洋一

札幌自転車競技連盟
審判長 室井 文男

1 競技内容の変更について

開催要項では、ロードレースになっていますが、昨年の本レース後の意見の中で「スタート時に隊列が長くなり、先頭と最後尾にタイム差が生起するため改善できないか」との意見を反映するとともに、出走選手が多い事を考慮して本大会においては、当初、パレードスタートし、道道58号・倶知安農高正門付近に設置してあるテープスイッチを踏んでから計測をするタイムトライアル形式を試行します。

2 ポイントについて

競技内容がロードレースからタイムトライアルに変更したが、従来であればポイントはタイムトライアルのポイントにするべきであるが、従来のタイムトライアルと違い、走行距離が長く、ヒルクライムで過酷であるため、開催要項どおりのロードレースに準じたポイントを適用したく道車連 理事長とも協議の結果ロードレースポイントを適用することとします。

3 スタートについて

大会参加者が600名弱になりましたのでスタートを3グループに分けてスタートすることにしました。

1グループ 10:00 エリート・S-2・S-3・J

2グループ 10:05 S-4・L

3グループ 10:10 S-5・C-1・C-L・M・MTB 男女